

第5学年「総合」の学力向上のための方策

児童の実態（成果と課題の分析）

- 成果** ○ PCの操作に慣れ、インターネットを使った調べ学習は意欲的に活動できる。
○ 何の学習をするか、どのような学習をするかを示すことで意欲的に取り組める児童が多い。
- 課題** ▼ インターネットや本などを使った調べ学習では、様々な資料から必要な情報を取捨選択したり、自分なりに理解してまとめたりすることが難しい。
▼ 次の課題を与えられることを待ってしまい、何をしたいという次への意欲が乏しい。

指導の重点（身に付けさせたい力）

- ◇ 実社会や実生活の中から自ら問いを見だし、課題設定する力。
- ◇ 課題解決の見通しをもって情報を収集し、整理・分析してまとめ、表現する力。
- ◇ 協働的な学習の中で、互いのよさを生かしながら協力して解決しようとする力。

具体的な改善策

- 課題設定の際には他教科との関連を図りながら、探究的に学びたいことを適切に設定できるようにする。
- 多様な思考ツールを用意し、テーマや目的に応じて活用できるようにする。
- 調べたことを効果的にまとめたり発表したりすることができるように、プレゼンテーションやポスターセッションなどの基本的な技能の指導をする。

達成目標

- 探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 - 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
 - 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。